

高松岳～(泥湯三山)～

【報告者】I丸

【日時】2018年 10月 18日 【天候】晴れ

【参加者】I丸

《コースタイム》

6:30 川原毛地獄駐車場 → 6:50 泥湯登山口 → 8:40 小安岳 → 9:50 高松岳 → 11:40 山伏岳
→ 13:10 川原毛地獄 → 13:45 大滝 → 14:20 川原毛地獄駐車場

《 報 告 》



秋田県の湯沢市泥湯に聳える三山を周回して来ました。山頂付近の紅葉は終わっていましたが、中腹から裾野にかけて、素晴らしい紅葉が広がっていました。

早朝、川原毛地獄第二駐車場に車を止め、車道を標高 200m ほど下って泥湯登山口に到着する。途中から眺める山々は、紅葉の盛りで朝日に照らされ黄金色に輝いていた。登山口のポストに計画書を提出し、いざ！出発。本日も平日。誰も居ない。

色付いた木々に囲まれた登山道を分岐まで順調に登る。分岐から小安岳までは 10 分程。山頂は熊笹に覆われていて紅葉は終わっていた。一旦、分岐まで戻って高松岳を目指す。思った以上に展望の良い灌木と熊笹の稜線歩きとなる。高松岳山頂避難小屋も小さく見え、登山道がそこへ向かっているのが見える。時々見る獣の糞が気になるが、何か分からない。

立派な避難小屋に到着すると、山頂は、そこから歩いて 5 分の場所。辺りは熊笹で覆われているが、見渡す限り紅葉に色付いた尾根が延々と続いている。山頂は眺めがよく、ゆっくりしていると、中高年男性が 1 人登って来た。聞いてみると地元の人らしい。よしっ！情報をゲットせねばっ！とあれこれ伺うと、1 年前にリタイヤし、それから山を始めた初心者だと言う事だった。なので、私が地図を広げて、虎毛山や栗駒山、神室山など説明した。そして秋田の山の魅力など……。そうか、私は随分東北へ通ったんだなあ～と痛感した。もう、今年で終わりかな・・・？



避難小屋まで戻り、また稜線を歩き山伏岳へ向かう。途中の泥濘で、また防水性の無い靴が中まで濡れてしまってウンザリ。山伏岳山頂も眺めが良かった。

紅葉は、標高 800m 位が盛りで、各山頂近辺は終わっていたが、下る登山道は紅葉に包まれていた。



川原毛地獄には、観光客が集まっており、みなさん、温泉大滝を目指し地獄谷を下るも、標高 250mほど下らなければならぬので、早々に引き返してくる。紅葉に包まれた白い地獄谷は、太陽に照らされて真っ白に輝いて眩しい。下る事 35 分で川原毛大湯滝に到着。20mの滝の滝壺が浴槽になっている豪快な露天風呂。手を付けると適温！あぁーひと風呂浴びたい！が、まだ羞恥心があった。

写真だけ撮って、登り返し駐車場へ戻った。

7年続けた東北紅葉の旅も、常宿の閉館によって終わった。民宿での別れ際に、ご主人から立派な熊鈴を頂いた。鍛冶屋さんが作っている熊鈴らしい。チリーーーンと神々し響き。常連のお客さんから、ブナ林の新芽の時期は、登山道が緑色に輝くんだよ。と教えてもらう。えっ？そうか！秋には黄金色に輝くから春には緑色に輝くんだ…。そんな道は歩かんといかんっ！



川原毛地獄



そんなこんなで、新し熊鈴を付け、新緑のブナ林を歩く東北の旅、第二段が始まったのである。

注) 東北には、イノシシ、鹿はいません。(北限は福島県) 私が見た糞は、ほぼ、熊だと言う事でした。そう、冬眠の出来ない動物は居ないので、勉強になりました。次回に活かします。

脱衣所



滝壺の温泉